

初出一覧

本論文の各章の初出論文は下記の通りである。初出論文発表後の研究動向やそれにもなつて私見を改めた箇所は、注で初出論文との異同を記した。また大幅な加筆・修正を行った論文は、本文および注に私見の修正・補足を組み込んでいる。

序章 大宰府成立史への本書の視点(新稿)

第一部 九州の古代豪族と倭王権

第一章 古墳群からみた九州の古代豪族と倭王権(「筑紫諸国と南島」吉村武彦他編『シリーズ地域の古代日本 筑紫と南島』角川選書、二〇二二年に加筆・修正)

第二章 那津官家修造記事の再検討(「那津官家修造記事の再検討」『日本歴史』七二五、二〇〇八年)

第三章 筑紫国造の地域支配―筑紫君と胸肩君、水沼君の動向を中心に―(「筑紫国造と評の成立」大宰府史跡発掘五〇周年記念論文集刊行会編『大宰府の研究』高志書院、二〇一八年の第一・二章と「第一章第五節『神郡宗像』の成立と変遷」新修宗像市史編集委員会編『新修宗像市史 いくさと人びと』宗像市、二〇二二年を統合し、加筆・修正)

第四章 倭王権の九州支配と筑紫大宰の派遣(「倭王権の九州支配と筑紫大宰の派遣」『九州歴史資料館研究論集』三四、二〇〇九年)

第二部 筑紫における大宰府の成立

第一章 筑紫における総領について(「筑紫における総領について」『九州歴史資料館研究論集』四一、二〇一六年)

第一章補論 筑紫大宰と筑紫総領―職掌と冠位の再検討―(「筑紫大宰と筑紫総領―職掌と冠位の再検討」吉村武彦編『律令制国家の理念と実像』八木書店、二〇二二年に加筆・修正)

第二章 朝倉橘広庭宮名号考(「朝倉橘広庭宮名号考」吉村武彦編『日本古代の国家と王権・社会』塙書房、二〇一四年)

第三章 文献史料からみた古代の水城（文献史料からみた古代の水城）九州歴史資料館編『水城跡 下巻』二〇〇九年）

第四章 大宰府と大野城（「大宰府と大野城」九州歴史資料館編『特別展 四王寺山の1350年—大野城から祈りの山へ—』二〇一五年に加筆・修正）

第五章 大野城跡出土柱根刻書再考（「大野城跡出土柱根刻書再考」『九州歴史資料館研究論集』四二、二〇一七年）

第六章 筑紫における評の成立（「筑紫国造と評の成立」大宰府史跡発掘五〇周年記念論文集刊行会編『大宰府の研究』高志書院、二〇一八年の第三章に加筆・修正）

第七章 大宰府成立期の木簡—七世紀木簡を中心に—（「大宰府成立期の木簡—七世紀木簡を中心に—」『木簡研究』第四二号、二〇二一年）

終章 大宰府成立史のまとめと課題

第一節 大宰府成立史研究の成果（九州北部の豪族と筑紫大宰）『九州国立博物館アジア文化交流センター研究論集 第2集 大宰府史跡指定100年と研究のあゆみ』九州国立博物館・福岡県立アジア文化交流センター、二〇二二年）

第二節 大宰府成立史と九州における律令制形成史研究の課題（新稿）